










# 「ふくしま創生総合戦略」の進行管理結果（案）

資料3

【概要】 ふくしま創生総合戦略の進行管理について、P D C A マネジメントサイクルに基づき、各種取組に係る指標の達成状況の分析を通じて、効果検証（Check）を行うとともに、検証の結果判明した課題について、ふくしま創生・人口戦略有識者会議による評価を経て、対応の方向性を整理し（Action）、令和8年度事業を構築（Plan）した。

総合戦略の基本目標	取組状況						主な課題と総合戦略における対応の方向性		主な令和8年度事業
	施策の方向性	項目	基準値(R2)	最新値(R6)	目標値(R6)	目標値(R7)	主な課題	対応の方向性	
1 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる  (ひと)	出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	合計特殊出生率	1.48	1.15 (未達成)	1.61	1.25	少子化の背景には、経済的な不安定さ、出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、家事・子育ての負担が女性に偏っている状況など、希望の実現を阻む様々な要因が絡み合っており、総合的な支援が必要である。	若い世代が結婚や子育てに希望を持ち、子育てに伴う喜びを実感できるよう、市町村や民間企業・団体など、様々な主体と緊密に連携し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を実施していく。	<div><div>一部新</div><div>オールふくしま出会い・結婚応援事業(こども)</div><div>若い世代を対象とした大規模マッチングイベントの開催や、結婚支援システム「はぴ福なび」の利用促進のほか、市町村等と連携した婚活イベントの開催や、共通の趣味等をテーマとした体験型の交流イベントを拡充するなど、出会いの機会の創出に取り組む。</div></div> <div><div>新規</div><div>ふくしま健活推進プロジェクト(保福)</div><div>県民の健康指標改善のため、新たな「ふくしま健民アプリ」の活用や市町村等との連携を図りながら、自然に健康になれる環境づくりと運動・食事両面から個人の行動変容を促す事業を行う。</div></div> <div><div>新規</div><div>地域共創による高校生の探究的な学び推進事業(教育)</div><div>学校現場の体制整備の支援として、探究カリキュラムの構築支援のための教員研修や地域探究コーディネーターの配置による学校と地域等の連携の強化を図るとともに、探究ポータルサイトの活用、探究学習の発表会等を通じて好事例の横展開を目指す。</div></div> <div><div>継続</div><div>多文化共生推進事業(生環)</div><div>多文化共生社会の形成を推進するため、関係団体等との連携により、外国人住民等に対する日本語教育の推進を図るとともに、「やさしい日本語」の普及や地域と外国人住民の相互交流促進等に取り組む。</div></div> <div><div>若い世代のニーズを踏まえた多様な出会いの機会を創出</div><div><div>新たな健民アプリのイメージ</div></div></div>
	健康長寿社会の実現	65歳以上の高齢者割合(%)	31.2 (R元)	— (未達成見込み) ※R5 32.2	26.5	25.6	運動不足や日々の食習慣により肥満や塩分摂取量に加え、メタボリック症候群の割合が全国ワーストクラスで推移しており、生活習慣改善の取組が必要である。	減塩に関する関係団体・市町村・スーパー等との健康的な食環境づくりの推進体制を強化するとともに、健民アプリを活用した気軽に楽しく運動を継続できる健康づくりの取組を推進する。	
	教育の充実	地域の課題を解決するための提言や社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合(%)	17.0	55.9 (未達成)	100	100	学校での地域課題探究活動の更なる推進に向けた校内体制の整備や、地域との連携体制構築、高校卒業後の大学生等と地域をつなげる仕組みづくりが必要である。	地域ネットワーク推進委員を配置し、各校の校内体制整備や地域との連携体制構築を支援するとともに、各高校の卒業生等を地域課題探究活動に活用できるシステムを構築する。	
	誰もが活躍できる社会の実現	「やさしい日本語」交流事業参加者数(人)	1,711	9,161 (達成)	4,990	5,820	本県の人口減少が進む一方、外国人住民は増加傾向にあり、外国人住民が地域の一員として生き生きと安心して暮らせる環境を整備するなど、多文化共生の取り組みを進めることが安全・安心な地域づくりや本県の活力維持のために重要である。	日本語教育の機会拡充や教育の質の向上に向けた取組を強化し、外国人住民と地域住民の双方が安心して暮らせる環境整備を推進する。合わせて、「やさしい日本語」の普及促進等を通じて、市町村など関係機関や県民の多文化共生に関する理解の醸成を図る。	
2 あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる  (暮らし)	安全・安心で魅力的な暮らしの実現	スマートシティに取り組む市町村数(市町村)	1	29 (達成)	5	7	県のみならず、市町村においてもデジタル変革(DX)に対するニーズは高まりつつあるものの、小規模自治体においては人材不足や財政的な制約等から取組が進んでいない傾向がある。	県デジタル変革推進基本方針に基づき、データ連携基盤の活用市町村の拡大や市町村へのICTアドバイザーの派遣等を行い、地域のDXに取り組み、県内全体のDX推進を図る。	<div><div>一部新</div><div>デジタル変革(DX)推進事業(企画)</div><div>スマートシティの取組に不可欠な仕組みである「データ連携基盤」を利用する市町村の拡大を図り、市町村への専門家による長期伴走支援、アドバイザー派遣による人的支援や補助金による財政支援、デジタルバйдの解消等を行い、本県のデジタル変革の推進を図る。</div></div> <div><div>一部新</div><div>カーボンニュートラル推進事業(生環)</div><div>福島県気候変動対策推進計画の下、金融機関等と連携した県内企業の脱炭素化支援のほか、将来の主役となる学生との共創による県民、事業者などへの普及啓発やEH導入支援による実践拡大を図るなど、実現会議を中心にオール福島での気候変動対策をさらに推進する。</div></div> <div><div>継続</div><div>小さな拠点・地域運営組織形成支援事業(企画)</div><div>地域の持続的な運営を推進するため、地域住民が主体となり生活機能の維持・確保をしていくための地域運営の新たな仕組みである小さな拠点とその活動を担う地域運営組織(RMO)の形成を支援する。</div></div> <div><div>ICTアドバイザー派遣</div><div><div>学生アンバサダーによる海外情報発信</div></div></div>
	環境と調和・共生する暮らしの実現	温室効果ガス排出量(2013年度比)(%)	△8.9 (H30)	— (調整中) ※R4 △21.3	△22	△24	本県では当面の目標として、2030年度の温室効果ガス排出量を基準年度(2013年度)比で▲50%を目指しており、削減目標の達成に向けて、あらゆる主体の連携による更なる取組が必要である。	「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」を中心に、市町村と連携した環境イベントの開催による機運醸成のほか、金融機関等と連携した企業脱炭素化支援や、ふくしまならではのZEHの導入支援などの実践拡大の取組を通してオール福島での取組をさらに推進していく。	
	過疎・中山間地域の振興	基幹集落を中心とした集落ネットワーク圏の形成数 ※「小さな拠点」の形成数	48	59 (未達成)	60	60	複数の集落生活圏を維持するための生活サービス機能を担う「小さな拠点」や、地域課題の解決を持続的に実践する地域運営組織の形成について、地域住民や市町村職員への浸透が不十分であり、理解や形成に向けたスキルを高める働きかけが必要である。	財政支援に加え、人材育成・情報発信を継続して行い、住民が主体となった持続的な地域運営の仕組みづくりを進める。	
3 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる  (しごと)	働き方改革の推進	育児休業取得率(男性)	8.4	43.5 (達成)	17.0	19.2	男性の育児休業取得率は4割を超えたものの、平均取得日数は女性に比べて短い傾向にあることから、多様で柔軟な働き方ができる職場環境づくりを促進していく必要がある。	奨励金事業等の更なる周知及び奨励金事業の支援メニューの拡充、国の認定制度「えるぼし」「くるみん」の取得に向けた専門家派遣や広報費等の支援により、県内における誰もが共に働きやすい職場づくりを図る。	<div><div>一部新</div><div>『感謝!ふくしま』プロジェクト(魅力ある職場づくり)(商労)</div><div>専門家による伴走支援をはじめとした企業の働き方改革や女性活躍に向けた意識改革、奨励金や助成金による職場環境整備、キャリアアップ支援、認証・表彰制度を組み合わせ、総合的に展開する。</div></div> <div><div>一部新</div><div>『感謝!ふくしま』プロジェクト(情報発信)(商労)</div><div>県内企業や福島で働くイメージが持てる情報の発信について、企業や関係機関等と連携して総合的に展開し、若者目線で届けていくことで、県内定着・環流を促進する。</div></div> <div><div>一部新</div><div>航空宇宙産業集積推進事業(商労)</div><div>今後の成長が期待される航空宇宙産業の集積に向けて、専門家派遣による認証取得支援や各種研修及び設備導入補助、取引拡大支援として商談会出展支援等を実施する。</div></div> <div><div>継続</div><div>起業・新事業創出支援事業(商労)</div><div>地域課題を解決し、地域経済成長の原動力となるチャレンジ精神あふれる起業家等による新事業の創出、起業の促進を図り、「スタートアップの地ふくしまの創造」を目指す。</div></div> <div><div>一部新</div><div>ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業(農林)</div><div>新規就農者の確保・定着に向けて、支援情報の発信、就農希望者を対象とした農業法人での実践研修「お試し就農」や現地ツアー、農業体験、就農相談会の実施、地域におけるサポート体制の構築、研修農場の整備等、総合的な支援を実施する。</div></div> <div><div>伴走支援による働き方改革支援事業</div><div><div>ふくしまベンチヤーアワード2025</div><div><div>お試し就農の様子</div></div></div></div>
	若者の定着・還流の促進	安定的な雇用者数(雇用保険の被保険者数)(人)	580,442	554,899 (未達成)	581,000	581,000	県内企業の魅力や県内で働く魅力について知ってもらい、また若者が働きたいと思える職場を整備していく取組が必要である。	県内企業の効果的な情報発信を行っていくとともに、受け皿となる魅力ある県内企業を増加させるような取組を行う。	
	中小企業等の振興	製造品出荷額等(億円)	50,890 (R元)	— (達成見込み) ※R5 56,345	52,954	53,483	各施策の効果をビジネスに繋げ、その効果を県全域に波及させるため、産業の育成・集積を促進する必要がある。	産業の裾野が広い自動車関連産業を始め、今後の成長が期待される再生可能エネルギー、医療、ロボット、航空宇宙、ICT関連産業等の企業誘致や既存企業の新規参入を推進し、企業間ネットワークの構築や販路拡大支援等を通じ、産業の育成や集積に取り組む。	
	新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進	開業率(%)	3.8	2.8	4.4	4.6	県内外からの幅広い起業や、スタートアップや第二創業などの今後、本県をけん引し上げる起業・新事業創出について支援する必要がある。	県内外への県内企業関連情報の発信と、ビジネスコンテスト等による県内起業意識の醸成を進めるとともに、本県発のスタートアップとなり得る新規プロジェクト創出に向けた支援に取り組んでいく。	
	農林水産業の成長産業化	新規就農者数(人)	204	322 (未達成)	370	375	担い手の減少と高齢化が進む中、本県の主要産業である農業の成長産業化に向け、多様な担い手を育成・確保するとともに、受け皿となる農業法人等の雇用を充実する必要がある。	就農支援策やフォローアップの実施により新規就農者の確保、定着、育成を図るとともに、農業法人等の雇用情報の収集・紹介等に取り組む。	
4 国内外から福島への新しい人の流れをつくる  (人の流れ)	移住・定住の促進	移住を見据えた関係人口創出数(人)	1,334	5,700 (達成)	4,800	5,580	将来的な移住の可能性を見据え、本県と関わりが生まれた方々との関係を継続し、深化・拡大していくためのフォローアップや機会提供に取り組む必要がある。	創業やテレワーク、ワーケーションなど、本県と関わる多様な機会を引き続き提供していくほか、地域キーパーソンとのつながりづくり、若者のUターン機運の醸成等により、関係人口の創出・拡大に取り組んでいく。	<div><div>一部新</div><div>転職なきふくしまぐらし。総合推進事業(企画)</div><div>本県と首都圏の個人・企業との関係性の構築に向け、テレワークや副業等の新たな働き方を切り口とした多様な機会を創出することにより、関係人口の拡大と「転職なき移住」の促進を図る。</div></div> <div><div>一部新</div><div>観光関連団体連携推進事業(観光)</div><div>「福が満開、福のしま。」福島県観光復興推進委員会として観光産業の更なる観光振興に向け、ふくしまDCをはじめとした官民一体となった施策の取組やプロモーション活動を展開する。</div></div> <div><div>ふくしまデスティネーションキャンペーン</div></div>
	交流人口の拡大	観光客入込数(千人)	36,191	57,573 (達成)	52,000	57,000	安定的で継続的な観光需要を獲得するには「地域としての魅力」によりファンを獲得する必要があるが、中長期的な視点を持って地域の観光を育てる必要がある。	地域の観光コンテンツ造成や磨き上げを支援し、本県の観光資源の魅力を高める取組を進めるほか、大型キャンペーンとの連携などにより、本県への誘客促進を加速化させる。	

※ 前回審議会(R7.8)の進行管理結果では旧戦略の柱建てとしていたが、新戦略の策定に伴い柱建てを再整理している。